



# 西を豊かに

2012年  
3月11日発行  
第1号

発行者 新潟市西区自治協議会 会長 岡本 松男  
事務局 〒950-2097  
新潟市西区寺尾東3丁目14番41号 西区地域課内  
TEL: 025-264-7161 FAX: 025-269-1650  
E-mail: chiiki.w@city.niigata.lg.jp

西区の宝物をたくさん詰め込んだロゴマークです。新潟スイカ、赤塚大根、黒埼茶豆、佐潟の白鳥。その上に日本海に沈む夕日を大学を表す博士帽を乗せてみました。(若井)



## JR越後線 「内野～吉田」間の 増便について

3年間の社会実験

JRと新潟市並びに燕市の連携・協力により、3年間の社会実験として、3月17日のダイヤ改正から、JR越後線「内野～吉田」駅間で、10時から15時の運行（上り下りとも）が、概ね40分間隔になるよう、増便が行われます。

これは、同駅間の運行が、日中1時間に1本と不便であったことから、昨年度、西区と西蒲区の自治協議会が共同で各コミュニティ協議会に呼びかけ、そこで集められた4万人を超える署名を基に、市を通じてJRに強く要望していたもの。

区自治協議会が地域課題の解決に取り組んだ一つの成果と言えます。

3年間の社会実験の後、これが本格実施につながるかどうかは、皆様にどれだけ利用していたかにかかっています。積極的なご利用をお願い致します。



## うちの コミ協 山田校区ふれあい協議会



知ったク  
なっとク  
街のタネ

24時間

・うちのコミ協の自慢は、地域全体で子育て支援に取り組んでいること。子どもを核にして、地域のお年寄りも含めた皆が集まる場を作ろうと、「ふれあいチャレンジカップ」や「山田っ子祭り」などのイベントを実施しています。

寄りの結びつきが強くなりました。今後こうしたイベントを工夫しながら、地域の結びつきを強くしていきたいと考えています。

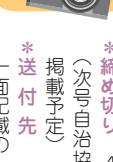


赤塚小学校では、佐潟を愛し、大切にしようとする子どもを育てたいと考え、11月には、5年生が一泊二日で佐潟にひたる活動を行いました。漁業体験、佐潟の食材を使った夕食、ナイトハイク、白鳥追跡、給手紙作り等、地域の皆さんの協力を得て、様々な活動を行いました。一生思い出に残る24時間になりました。

赤塚小学校 教頭 牧弘樹

## 私の一枚

皆さまからの写真を募集いたします。



### 応募方法

あなたの「自慢の写真」に住所・氏名（氏名は必須、ペンネームがあればペンネーム掲載）・連絡先・写真タイトル・一言コメントを添えてご応募ください。（電子メール可）  
採用者には千円の図書カードを贈呈。  
応募された写真は返却しません。

皆さまの自信作お待ちしております！



氏名(又はペンネーム):  
写真タイトル:  
一言コメント:



楽しかった！「潟舟体験と刺し網漁」の様子

## 編集後記

念願であった第一号を自治協議会第二期目にしてようやく発行することができました。

広報紙題名「西区を豊かに」は、投票によって決まり、なんとロゴマークも生まれました。

今後の広報紙「西区を豊かに」は、区民の皆さんと「双方向で」を合言葉に編集に取り組みしたいと思います。(石丸)



## 若井 山中の「コミ協」がきたい！



記念すべき創刊号は、西区自治協議会の岡本会長に自治協議会で大学生の二人があれこれ聞きました。

岡本「一言で」というのは難しいですが、私たちの活動は区民の皆様を知ってもらう初めに「始まる」ものです。今回の広報紙をきっかけに、地域のみならず私たちの活動についてご理解いただければと思います。

## 行動できるときこそできることを

山中：まず始めに、会長ご自身のことについて教えてください。

岡本：高校卒業後JR（旧国鉄）に就職。様々な役職を経験してきました。退職後は国内外を旅行したり、ホームヘルパーや精神対話士の資格を取ったりしましたね。そして64歳のときの市議会議員の経験から「地域自治」について向き合おうと考えるようになったんです。

若井：「すぐ活動的なんですね！」

岡本：「行動できる」ときに「学ぶ」ことを学びたいというのが私の考えなんです。

若井：「私自身もわからないところだらけの自治協議会。いったいどうしようかなって思っています。」

岡本：自治協議会というのは、

『地域のことは地域で責任を持って考えて、行政と一緒に地域を抱える課題を解決していくという集団』なんです。

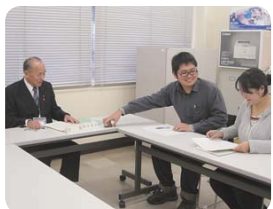
例えば、学校で先生から挨拶をするように決められるでしょう。そうやって上から命令されるような守れない。けれど、子どもたち自身から「ラッパの目標として挨拶をしつかりしよう」と決める。責任を感じ、納得して守れるようになるんです。それと同じことを区の単位でしていくことではないですか。

そして、自治協議会は議会の下に決定権や権限を持ってはいけません。でも、権限がないからセンスとか、どうとそうじゃない。『区民のこうしてほしい』とお願いする。『区民と一緒に責任を持って、一緒に解決していきましょう』という、重要な役割を担っているんです。

若井：「そのような自治協議会

## 「コミ協」が始まる

山中：それでは、最後に西区のみなさんに一言メッセージをお願いします。



岡本会長と山中（中央）、若井（右）編集委員

## 区長メッセージ



西区長 鈴木 亨

発刊にあたりごあいさつ申し上げます。

西区自治協議会の皆様には、区制施行以来、区ビジョン策定をはじめ、区役所庁舎整備、JR越後線「内野」吉田一駅間の増便、N7に防災や除雪など、様々な課題に自主的に取り組み、区民と区役所を結び「協働の要」と

しての役割を果たしていただいております。

この度、同協議会の活動をお知らせし、様々な地域課題の解決に向け、区民の皆様と一緒に取り組むことを目的に、独自の広報紙を発行することになりました。この広報紙が、区民の皆様への有感成と地域力の向上に大いに寄与するものと期待しております。

今後とも、安心安全、快適で元気のある西区を目指し、同協議会の皆様が先頭に立ち活躍されるよう、よろしくごお願い申し上げます。

### 第3部会

担当分野：農林水産業・商工業・交通

農業問題では、遊休農地を利用して区民の皆様が簡単に農地の貸し借りできる仕組みづくりを検討しています。農地法の壁が大きく、農協組織や農業委員会等の協力が不可欠なことが見えてきましたので、この問題を更に掘り下げたいと思っています。また、西区で収穫される新鮮な作物を販売する場所づくりや、地産地消を目指して西区各地で開催されている農業まつりなどに、自治協議会がどの様にに関わり応援できるかを検討しています。

次に、交通問題ですが、西区・西蒲区自治協議会が共同で呼びかけた署名活動により、3月17日から3年間の社会実験としてJR越後線「内野-吉田」駅間の増便が実現しました。これは一定の成果と言えるのではないかと考えております。このほか、寺尾線の混雑解消を図るため、地元自治会等に協力をお願いし、自治協委員・地元・行政による「検討会」も立ち上げています。一刻も早い解決に向けて努力して行きたいと考えております。

最後に、西区の観光ですが、昨年11月に3か所の観光資源を視察し、まずは赤塚地区の佐潟、中原邸の環境を整備して西区の観光名所にできるよう、審議を始めたところです。問題も見えてきたため、今後も議論を続けていきたいと考えています。

(部会長 江端 直樹)



部会長：江端 直樹  
副部会長：猪爪 衛  
岡本 松男・真嶋 民雄・斎藤 敏夫  
西條和佳子・吉田 博・山中 智成  
五十嵐静子

### 第2部会

担当分野：保健福祉・文化・スポーツ・教育

第2部会では現在は大きく2つの事項を討議しています。

一つは「見守り支援」。高齢化に伴う重要な課題として議論しています。現在も地域住民、行政、社会福祉協議会等の様々な支援が活発に行われていますが、更なる高齢化社会の中で、ご近所同士の日常的なさりげない見守りや助け合いが、より必要となってきたと考えています。また、様々な仕組みや活動があっても当事者になかなか伝わらない、つながらないなどの課題も見えてきました。今あるものを生かし、また足りない部分を見極め、具体的かつ実現可能な解決策を提言したいと考えています。

もう一つは「アートフェスティバル」。西区には、自然、歴史、芸術、音楽など、個人活動から、多くの人と作りあげているものまで様々な宝があります。それらを、人と人をつなげる、そして生きがいづくりのきっかけとして、生かしたいと考えています。例えばお年寄り親子がつながる場をつくり、昔の生活の知恵や技を伝えることで、その人らしくイキイキと過ごせたり、地域に根付いた音楽を多くの人に伝えたり、住民同士の一体化にもなるのではと考えています。

(部会長 新保まり子)



部会長：新保まり子  
副部会長：波多 雄一  
川合 敏秋・佐藤 正子・松井 賢二・大澤 力・錦 恵美子  
石丸 幸子・酢山 省三・山本 安光・石田 長光

### 第1部会

担当分野：防災・防犯・環境

第1部会は現在11名の委員で構成されています。所管分野があまりに広いため、今年度は審議項目を「防災」「除雪対策」の2点に絞って、月2回程度開催するなど活発な審議を行っています。

(1) 防災 地域防災の西区全体課題として、平成22年度に設けた各コミュニティ協議会の担当者による「検討会」からの3つの提言に基づき、また、東日本大震災の教訓も踏まえ、具体的な解決策等を審議しています。

- ① 自主防災組織のあり方…単位自治会では住民を避難所まで誘導する最低限の防災組織化と、コミ協としての組織化の検討
- ② 避難場所の見直し…学校だけに頼らない各自治会とコミ協のそれぞれの視点に立った避難場所についての検討
- ③ 防災意識の啓発…最小地域単位での自主防災組織の必要性や子ども、学校を巻き込んだ意識啓発

(2) 除雪対策 安心・安全にも関わる大きな課題として、地域と行政の協働による対応について、改善手法を検討しています。なお、今年度に行政が行っている除雪施策の結果を踏まえ、3月にはその検証と24年度に向けた改善点を審議することとしています。

(部会長 梶原 宜教)



部会長：梶原 宜教  
副部会長：小柳 武  
石黒 伸夫・福島 富・寺山 和雄  
根本 修一・佐藤 孝・山崎 米治  
鳴海 丈支・若井 千恵・近藤 武雄

西区自治協

## 6つの部会・プロジェクト

～今、取り組んでいること～

### プロジェクトチーム3

担当分野：区役所整備及び区内施設の新設・用途変更に関するもの

プロジェクトチーム3では現在は、新しい区役所庁舎について審議しています。

これまで、平成21年度に、区内全世帯を対象とした西区役所庁舎整備に関するアンケートを実施。2万世帯を超える回答が寄せられ、その結果を踏まえて西区自治協議会の「基本的な考え方」を取りまとめました。そして、「西区役所庁舎は、現在地での整備とする」「現在地での整備においては、分散している区役所の各組織を同一の建物に集中させること、駐車場は必要台数を確保すること、区役所はもちろん公民館や図書館においても十分な機能が果たせる施設規模とすることなど、現状での課題を解決する方策を講じることが必要である」との要望書を作成し、平成22年4月に市長へ提出しています。

今後は、新しい区役所庁舎整備の審議を継続し、さらに西区役所分館改修整備の検討に入ります。区民1人ひとりにとって使い易い施設となるよう、多くの方々からプロジェクトチームにご意見をお寄せいただくようお願いいたします。(部会長 福島 富)



部会長：福島 富  
副部会長：近藤 武雄  
岡本 松男・梶原 宜教・江端 直樹

### プロジェクトチーム2

担当分野：自治協活性化に関するもの

自治協議会が作られてから約5年が経過しておりますが、正に「作られた会」からの脱却が充分果たされていない現状です。

新潟市が市民とともに行政を行うという大目標を掲げて出発した仕組みですが、その接点に位置する自治協議会がその役割に苦心をしています。会合の設定、問題の整理、役割の議論等を行って形の整備は進みましたが、まだまだ区民、市民の期待を担うまでにはなっておりません。何しろ住民サイドの大きな柱である「市民と行政との協働の要」のイメージはあっても具体的な事項は全くの初体験の世界です。

今年からは、立場を異にしている委員同士の話し合いを通じて、その役割の共有化を深めつつ、どの様にして市民と行政との協働を現実のものにしていくかの議論を進め、実現を図りたいと考えております。

委員のモチベーションも、自治協議会を見る市民の視線に大きく左右されるものと思いますので、できるだけ自治協議会各会合の傍聴をたまり、ご意見をお聞かせくださるようお願い致します。

(部会長 寺山 和雄)



部会長：寺山 和雄  
副部会長：松井 賢二  
根本 修一・新保まり子・酢山 省三  
山本 安光

### プロジェクトチーム1

担当分野：自治協提案事業に関するもの

プロジェクトチーム1では何回かの討議を経て、「自治協議会活動を区民に知らせる事業」「自治協議会の活動強化に繋がる事業」を行うこととし、今年度は、更に絞って「自治協独自の広報紙」を1回発行することとしました。

広報発行の目的は、自治協委員自身も「自治協って何?」と問いながら、広く区民に自治協活動を知ってもらうことですが、そこに、編集のポイントとして、「自治協からのお知らせ」だけでなく「読者である西区民の顔が見え、意見や声が反映される」双方向の広報紙にしていく点を加え、現在当プロジェクトチームで作業を進めています。

また、平成24年度の事業としては、広報紙の発行を年4回に拡大することと編集委員の公募、区民との意見交換会の開催、自治協議会委員の活動強化のための研修、コミュニティ協議会の活性化や自治協との関係のあり方等を意見交換する場の設定など、新たな取り組みの方向性を打ち出しています。

今後も、自治協や各コミュニティ協議会での区民自身の豊かな活動によって「住みやすい豊かな西区」にできるよう議論していきたいと考えています。

(部会長 酢山 省三)



部会長：酢山 省三  
副部会長：西條和佳子  
梶原 宜教・斎藤 敏夫・吉田 博・山中 智成  
石丸 幸子